

みなさまの保険情報

INSURANCE INFORMATION

TOPIC

子供に交通ルールを守らせるのは親の義務です！

～子供の自転車事故で親に9,500万円の賠償命令!!～

5年前の9月に兵庫県神戸市で、時速20～30キロで坂を下っていた小学5年生(当時)の男子児童の自転車と、散歩中の女性(67)が衝突し、女性のはね飛ばされて頭を打ち、現在も意識不明の状態が続いているという自転車事故が起きました。

この被害女性の家族などが児童の母親に対して賠償を求めた裁判で、神戸地方裁判所は7月4日、児童の母親に約9,500万円を支払うよう命じました。



子供への指導・注意が不十分だと親に監督責任！

「少年の母親が自転車の乗り方についての十分な指導や注意をしていたとは言えない」と裁判所が判断したもので、自転車事故で加害者に支払いを命じた金額としては過去最高となります。

この判決のポイントは、その親権者である親が子供の自転車利用に対し指導や注意が不十分だったことによる監督責任に言及し、賠償を命じている点にあります。

自転車についての安全教育を子供にしっかりと！

自分が自転車事故の加害者にならないために、交通ルールやマナーを守って安全運転を心がけている人は増えていますが、それに加えて、お子さんのいらっしゃる親御さんは自転車についての安全教育をお子

さんに対しても、しっかりと行う必要があります。残暑も過ぎ、行楽シーズンがくると、行動範囲も広がり、自転車で遊びに行く機会も増えるかと思えます。家族全員で安全運転を心がけましょう。

自転車を走行する前にチェック

ベル	ベルの音が鳴るか確認しましょう。
ライト	夜間走行の際はライトの点灯が義務づけられています。
ヘルメット	13歳未満の児童や幼児はヘルメットをかぶりましょう。
サドル	サドルがきちんと固定されているか確認しましょう。
ブレーキ	走行前にブレーキがかかるかチェックしましょう。



自転車を走行するときは.....

安全確認をする	交差点などでは必ず左右の安全を確認しましょう。
スピードを出さない	自転車は急に止まることができません。人・物への衝突を避けることができる安全な速度で走行しましょう。
二人乗りはしない	バランスを崩しやすく非常に危険です。
傘さし運転は危険	傘さしによる片手運転はバランスを崩しやすく危険です。
からだに合った自転車に乗る	両足先が軽く地面につき、上体が少し前傾姿勢になるくらいに調整しましょう。